

希望

岩越祐子

■絶望と希望の間

絶望した日に

嬉しいニュースが届いたり

はずんでいた心が

トゲのある言葉によって

しぼんだりしていた朝

わたしを

招いて下さった人がいた

手作りの料理の

もてなしを受け

他愛のない

おしゃべりが

どれほど

心をいやしていくか

を

体験できた

誰もが

誰かを助け

誰かを支えている

無用な人など

いない

誰も

誰かにとっては

かけがえのない

人

なのだ

あなたが誰かを支え

誰かがあなたを助け

あなたの

かけがえのない人を

誰かが守っている

■ 日課

私の日課は

時間簿を記すこと

夕テ軸に

時間

ヨコ軸に

事柄を振り分け

矢印で

記入していく

時間管理と

自己管理

金銭管理を

記していく

浪費していた

時間が見えてくる

自分のしたい事への

アキ時間が

見えてくる

時間がない

と

思わなくなっている

時間は

資源

私の

生命の終りの

瞬間まで

絶えず

とどまることもなく

消費されていく

時間

何もしなくても

時間は経ち

体力は老化し

シワは増えていく

二十四時間の

岩越祐子「希望」

遣い方で
生き方が変わる
生命が変わる
あなたが変わる
運命が変わる